

在スロバキア日本国大使館
政治・経済月報（2017年7月）

目 次

内 政

- ◆スロバキア国家主権宣言25周年を受けたフィツォ首相の発言 2
- ◆政党支持率調査結果 2

外 政

- ◆ライチャーク外務・欧州問題相の訪日 3
- ◆ライチャーク外務・欧州問題相の訪中 3
- ◆岐阜市長のスロバキア訪問 3
- ◆キスカ大統領の「三海域協力」首脳会合出席 4
- ◆フィツォ首相のV4首脳会合出席及びとユンカー欧州委員会委員長との会談：食料品の二重品質問題 4

社 会

- ◆リバーリコヴァーがウィンブルドン選手権でベスト4進出 5

経 済

- ◆河北鉄鋼集団がUSスチール・コシツェ製鉄所買収交渉を中止 5
- ◆スロバキアの失業率が6%代まで減少 6
- ◆スロバキア中央銀行月報（7月） 7

別添：主要経済指標

※本月報は公開情報を在スロバキア日本国大使館がとりまとめたものです。

内 政

◆スロバキア国家主権宣言25周年を受けたフィツォ首相の発言（17日）

フィツォ首相は、スロバキア国家主権宣言25周年を受けた記者会見の中で、「スロバキアは、現代社会に対応するために取り組まなければならない課題が2つある。1つは、独立スロバキア国（当館注：1939年にナチス・ドイツの庇護のもと成立した国家）の思想に戻ろうとする試みの拒絶である。我々は、1940年代にスロバキアで広まっていた思想に戻ろうと呼びかけている政治勢力や政治運動を拒絶しなければならない。我々全員が、ファシストによる独立スロバキア国を復活させようとする全ての試みを拒絶しなければならない」と述べた。

フィツォ首相はスロバキアの2つ目の課題について、「我々はEUの話し合いに直接参加し、積極的にEUの将来を形作っていかなければならない」と述べ、スロバキアがEUの先進国と同じグループにいる必要がある旨付言した。

1992年7月17日、チェコスロバキア連邦共和国（当時）のスロバキア議会は、スロバキア共和国の主権宣言を採択し、それが1993年1月のチェコとスロバキアの分離独立につながった。

◆政党支持率調査結果（27日）

世論調査機関Focusによる7月の政党支持率調査の結果は以下のとおり（括弧内は支持率に基づいた議席数）。極右政党LSNS（我々のスロバキア）の支持率が下落したが、これは、党首コトレバ氏が知事を務めるバンスカー・ビストリツァ県の道路工事談合疑惑によるものと推測される。

政党	Focus	2016年選挙
Smer-SD（方向・社会民主主義）	26.4%(44)	28.3%
SaS（自由と連帯）	14.2%(24)	12.1%
SNS（スロバキア国民党）	10.3%(17)	8.6%
OLaNO-Nova（普通の人々・独立した人達 -新たな多数派）	9.2%(15)	8.6%
LSNS（我々のスロバキア）	9.1%(15)	8.0%
Sme rodina（我々は家族）	8.2%(14)	6.6%
KDH（キリスト教民主運動）	6.3%(11)	4.9%
Most-Hid（架け橋）	6.2%(10)	6.5%

外 政

◆ライチャーク外務・欧州問題相の訪日（3～5日：外務・欧州問題省発表）

4日、ライチャーク外務・欧州問題相は第72回国連総会議長として訪日し、東京において安倍総理と会談を行った。ライチャーク外相は「21世紀の課題を解決するために、強固で効率的でよく準備されたプラットフォームが必要とされているが、国連がまさにそのような国際機関である。我々は前進するために、国連の強化、改革及び活性化に取り組むことのみが必要である」と述べると共に、国際平和維持に関与している日本を評価した。また、ライチャーク外相は「東アジアの緊張を高めるだけの弾道ミサイル実験を中止するよう平壤に圧力をかけ、北朝鮮は国連安保理の関連決議を尊重すべきと主張する必要がある」と述べた。

岸田外相との会談において、ライチャーク外相は、次期国連総会議長としての優先事項を説明し、中でも平和維持と紛争の予防を強調した。ライチャーク外相は岸田外相と共に、移民に関するグローバルコンパクトの採択や2018～2019年度予算の策定に向けた国連における日本との協力についても話し合った。両外相は、国連改革や今朝更なる弾道ミサイル発射実験を行った北朝鮮の問題を含む国際政治上の課題について意見交換した。

ライチャーク外相は二国間関係について、多くの実利をもたらすハイレベルな政治対話と順調な経済協力を評価した。ライチャーク外相は「来年は両国の外交関係樹立25周年を迎えることになる。この四半世紀は両国の緊密な協力により特色付けられており、これを今後とも継続させていきたい。スロバキアに進出している日系企業は重要で責任感のあるパートナーとして伝統的に認識されている。我々は、スロバキアにおける更なる日本の投資を支援し拡大する用意がある」と述べた。

◆ライチャーク外務・欧州問題相の訪中（13～14日）

ライチャーク外相は第72回国連総会議長として、13～14日に中国を訪問し、李源潮国家副主席及び王毅外交部長と国連の3つの柱（平和、人権、持続可能な発展）及び国連改革について議論した。18～20日には国連ニューヨーク本部を訪問し、持続可能な開発に関するハイレベル会合に出席した。25日には国連ジュネーブ本部を訪問し、モラー事務局長と移民・難民、SDG、国連改革、軍縮及び人権保護について議論した。

◆岐阜市長のスロバキア訪問（5～8日）

6日、スロバキアを訪問した細江・岐阜市長はライチャーク外務・欧州問題相に面会した。岐阜市は、日本政府の「ホストタウン構想」に基づき、東京で

開催される2020年夏季オリンピック・パラリンピックの直前に、スロバキア人スポーツ選手に対し、事前合宿のための競技場の提供を申し出た。

ライチャク外相は「岐阜市がスロバキア人スポーツ選手の合宿地のホストを提案してくれたことに感謝しており、これを評価し支援していきたい。自分（ライチャク外相）はちょうど東京から戻ってきたばかりであり、2020年夏季オリンピック・パラリンピックの準備が集中的に進展している様子を見ることができた。自分の肌で現地の気候条件を実感できることは、選手にとってかけがえのないことである」と述べた。

「ホストタウン構想」における具体的な協力の可能性については、岐阜市の代表団とスロバキア・オリンピック委員会の役員の間で協議される。

◆キスカ大統領の「三海域協力」首脳会合出席（6日）

6日、キスカ大統領は、ワルシャワで行われた「三海域協力」首脳会合に出席した。三海域協力の目的は、相互協力とインフラによる結びつきを強化し、EUの一体性と結束に貢献することである。本首脳会合には、中東欧諸国12か国の首脳その他、トランプ米大統領が出席した。

本会合の主なテーマの一つは、エネルギー安全保障であった。キスカ大統領は、「エネルギーは単なる商品ではない。エネルギーは他国に対する脅迫として度々利用されているので、エネルギー供給先を多様化することは重要である。自分（キスカ大統領）は、2009年のガス供給問題を覚えているし、ウクライナのことを忘れることはできない。ガスパイプライン「ノルドストリーム2」はウクライナに対する脅しとして利用される可能性があるため、その建設を阻止するために全力を尽くさなければならない」と述べた。

キスカ大統領は、EUと米国の相互協力に関し、「トランプ大統領に対し、環大西洋貿易投資パートナーシップ協定（TTIP）等のEUと米国の相互協力プロジェクトについての議論を続けていくよう要請した」と述べた。

安全保障のテーマにおいて、キスカ大統領は、NATOが共通の価値に基づいた連合であることを強調すると共に、「トランプ大統領に対し、北大西洋連合が依拠しているNATO条約第5条（の存在）を中東欧諸国が感じることができるよう要請した」と述べた。

◆フィツォ首相のV4首脳会合出席及びとユンカー欧州委員会委員長との会談：食料品の二重品質問題（19日、27日）

19日、ブダペストにて行われたV4首脳会合において、欧州市場における食料品の二重品質問題（商品名が同一であるにもかかわらず、西欧で販売されている製品に比べ質の劣る製品が中欧で販売されている問題）が取り上げられ

た。会合の結論として、V4諸国はフィツォ首相に対し、本問題についてユンカー欧州委員会委員長との一対一での協議を要請した。「本件で発生している問題は、国際的なスキャンダルに発展しつつある。V4諸国の国民は、これが侮辱であることを非常に正しく認識している」とフィツォ首相は強調した。この問題の核心は、食料品の品質や安全基準に関し多数の虚偽があることではなく、V4諸国の国民が、自分たちが欧州の二流市民のように扱われているという認識を抱いていることにある。

27日、フィツォ首相はブリュッセルを訪問し、ユンカー欧州委員会委員長と食料品等の二重品質問題について協議を行った。ユンカー委員長は「欧州委員会は、二重品質問題を解決するために全力を尽くす。スロバキアで低品質の製品が販売されている状況は全く受け入れられるものではない。新しいEU法を作ることは約束できないが、食料品の品質に関する既存のEU指令の新解釈を公表することを考えている」と述べた。

フィツォ首相は、ユンカー委員長との協議の後、欧州委員会が食料品の二重品質問題を深刻な政治問題として捉え、対処しようとしていることを歓迎すると共に、「EU法を新たに作るのか変更するのかということはどうでも良いことで、重要なのは問題解決に近づくことである。欧州委員会、V4各国政府及びV4市民の圧力のもと、二重品質問題が妥当な時間内に解決されることを確信している」と述べた。

社会

◆リバーリコヴァーがウィンブルドン選手権でベスト4進出

ロンドン郊外で開催されたウィンブルドン選手権において、女子テニスのマダレナ・リバーリコヴァー選手は、スロバキア人として史上初めてベスト4に進出した。世界ランク87位のリバーリコヴァーは、準決勝において本大会で優勝することになるムグルサ（スペイン）に破れ敗退したが、2回戦で世界ランク1位のプリーシコヴァー（チェコ）に勝利する等、本大会で大きな驚きを提供した。ウィンブルドン選手権ベスト4は、同じくスロバキア人のチブルコヴァー（自己最高世界ランク4位）やハントウホヴァー（同5位）でも達成することができなかった快挙である。

経済

◆河北鉄鋼集団がUSスチール・コシツェ製鉄所買収交渉を中止（11日付スメ紙）

米国のUSスチール本社は、今のところコシツェ製鉄所を売却することはない。国営スロバキア・ラジオ・テレビ（RTVS）の報道によると、世界で3番目

に生産量が多い中国の鉄鋼メーカー「河北鉄鋼集団」は、コシツェ製鉄所買収交渉を中止した。中国は、同国経済に問題が生じているため、全ての国外投資を中断している。ブラチスラバ経済大学のバラージュ氏は「中国政府は、特に大企業への国外投資を厳しく制限している。中国政府の財政を安定させるために、中国経済を取り巻く状況が複雑になっている」と述べた。河北鉄鋼集団は、中国の地方政府である河北省が所有している。

今年初め、USスチール本社は河北鉄鋼集団との覚書に署名し、河北鉄鋼集団はコシツェ製鉄所の買収交渉を独占的に行えるようになっていた。スメ紙の情報によると、河北鉄鋼集団はコシツェ製鉄所の買収に14億ユーロを提示した他、欧州の他製鉄所と競合するために、コシツェ製鉄所の近代化に10億ユーロを投資することを検討していた。コシツェ製鉄所の買収には、チェコのモラヴィア・スチール社も関心を示していたが、同社が提示した価格は河北鉄鋼集団よりも低かった。

◆スロバキアの失業率が6%台まで減少（20日付プラウダ紙）

労働・社会問題・家族省は、スロバキアの6月の登録ベースでの失業率が6.90%となり、前月比マイナス0.45%、前年同月比マイナス2.55%を記録したと発表した。6月の失業者数は187,997人で、前月比マイナス12,394人、前年同月比マイナス68,618人（26.74%減）と急速に減少している。フィツォ首相は「我々はずいに失業率6%台を達成した」とかつてない低失業率を強調。続けて、労働・社会問題・家族省に対する謝意と、今後も政府の取り組みを継続する旨述べた。

コンサルティング会社によると、失業率の減少傾向と有効求人数の増加傾向は、本年中継続すると見込まれており、労働力需要の高まりが背景にあると分析されている。労働力需要は製造業が最も高く、特に自動車及び機械工業分野での需要が大きい。

マチュンカ労働組合連盟会長は、失業率の更なる低下に期待する一方、失業率6%未満を目指すという政府目標は野心的すぎるとの考えを示し、「失業率は6%台が下げ止まり。この国の失業者には好ましくない構造がある」と述べた。同氏は、教育が十分でない人々や、非熟練労働者を可能な限り多数雇用するという政府方針に対する感謝を述べつつ、現在のスロバキアの経済成長について「経済成長は順調であるも、スロバキアが海外から『輸入』を必要としている熟練労働者の急激な不足により阻害されている」と付け加えた。

経済学者のコルシュニャーク氏は、「スロバキアの全求人が充足された場合、失業率は4.62%に低下するが、実現はできないだろう」と述べた。スロバキアは各郡の労働力需給が著しくバランスを欠いており、ブラチスラバ、トル

ナヴァ、マラツキ等スロバキア西部では労働者不足が発生している一方、ソブ
ランツェ（スロバキア東部）やポルタル（スロバキア中部）では1件の求人
に対し100人ももの失業者が存在している。

◆スロバキア中央銀行月報（7月）

1 GDP

ユーロ圏経済における景況感指数の好ましい数値は、5月の実際の経済デー
タを反映している。小売業の売上と鉱工業生産の伸びが前月から加速した。ユ
ーロ圏の5月の鉱工業生産は今年最大であった。

ユーロ圏経済における外需の上昇傾向は、今のところスロバキア経済に大き
な影響を与えておらず、第2四半期のスロバキアのGDPは若干落ち込むこと
が予測されている。

2 労働市場

5月の雇用率は力強い伸びを見せ、前年同期比で3.1%、前月比で0.3%
それぞれ上昇した。第2四半期の雇用率も比較的高い上昇率を記録することが
予測される。全ての主要部門（大半が鉱工業）が5月の雇用率上昇に貢献した。

6月の登録ベースでの失業率は前月比で0.45%下落し、過去最低の6.
9%となった。求職者数の減少は、就職及びそれ以外の要因（失業者登録の解
除。例えば、失業者登録の自主的な取り下げや、職業安定所への必要書類未提
出及び所得制限の超過等に伴う失業者登録の抹消）が部分的に影響した。

5月の平均賃金は3.8%上昇となり、引き続き第1四半期の平均賃金の増
加率を上回っている。労働需要の高まり（労働力確保を巡る競争における各企
業による賃金の引き上げ）と経済の改善が、今後の賃金上昇を後押しすると見
られる。5月の平均賃金は910ユーロであった。

3 物価

6月の物価は前年同期比で1.0%上昇し、前月比では変化が見られなかつ
た。食料品価格は前年同期比で上昇したが、先月と比べて停滞したエネルギー
価格及び若干の下落が見られたサービス価格が物価上昇の全体の足を引っ張っ
た。物価上昇のペースは6月に減速したものの、2017年の物価上昇率は1.
0%を超えると予測される。

4 貿易

5月の輸出は、自動車輸出の後押しを受けて穏やかに増加したが、工場の大
規模点検に伴い生産を停止した石油製品部門が輸出と輸入の足を引っ張った。

5月の商品輸出は前年同期比で4.4%増加し、輸入は7.2%増加した。貿易黒字は、1億3700万ユーロであった。

スロバキア主要経済指標

(出典:スロバキア統計局)

